

1.目的の設定		2.データに意味づけを行う							3.目的に合った記述方法を決めて実装する				4.データを公開・運用する					
補足資料の関連ページ	1	2.1	2.2	2.3	2.4	2.5	2.6	2.7	3.1	3.2	3.3	3.4	4.1	4.2	4.3	4.4		
手順分類	3、9	4-5	4-7		7-8	6	6		3、9				●	○	○	○	△	
データ項目を定義する	●	○	○	○	△	△	○	△	●	△	○	△	●	○	○	△		
テンプレートを利用する	●	△							●	△	○	△	●	○	○	△		
単一の市役所による既存データ公開	既存公開データをリストアップ。	対象データセットごとに、各データ項目の記載内容を定義した。一部の集計表は、「1行に」レコードを記載するようデータ構造を見直した。	IMIコア語彙と対応するデータ項目を抽出し、IMIコア語彙の該当する用語を記載した。	IMIコア語彙で足りない項目について、ex:の応用語彙(ローカル定義)を設定。					既存公開データリストをもとに、公開/非公開の種別を作成。公開データセットに関しては各データ項目の定義を整理した。	既存のxlsに加え、IMIコア語彙との互換性が高いデータセットを対象にXML化することとした。		既存公開データセットを利用したため、データレコードの入力は行っていない。	28データセットについて、表からデータモデルを使いXMLデータセットを作成した。	表からデータモデルで変換したXMLデータセットを公開した。	公開の案内ページを掲載した。			
実施例	広域の自治体連携によるデータ公開	ワーキンググループを通じて企業等の利用ニーズをふまえたデータセットを選択。更新が困難などの理由から、いくつかのデータセットは公開を見送った。	利用目的に合ったデータ項目を検討。更新が困難などの理由から、いくつかのデータセットを選択。	IMIコア語彙と対応するデータ項目を抽出し、IMIコア語彙の該当する用語を記載した。	各自治体がデータを作成、提出可能かどうか確認。収集しづらいデータ項目定義を調整したり、データ項目数を削減した。	IMIコア語彙で足りない項目について、ex:の応用語彙(ローカル定義)を設定。	幹事自治体にて識別子を定義。	データセットごとにデータ項目定義書を作成、公開。	各参加自治体からはcsvまたはxls、xlsxでデータを収集し、幹事自治体にてxml化することとした。データカタログとデータセット定義を文書化し、参加自治体へ配布した。	3.1で配布された文書に基づき、各参加自治体が入力フォーマットでデータセットを作成。全データセットの統合と2.6識別子の付与は、別途幹事自治体にて実施した。	3.3の統合データをもとに、幹事自治体にてデータセッタを登録。幹事自治体が共通フォーマット及び全自治体統合版データのRDFを公開した。	各参加自治体が直接オープンデータサイトへデータセッタを各参加自治体に提供。更新ファイルは各参加自治体が直接オープンデータサイトへ登録している。	3.3で識別子を付与したデータセッタを各参加自治体に公開。データセッタを各自治体に公開。後日参加自治体等の意見をふまえてデータ項目定義書を改版。					
推奨フォーマットを利用したデータ公開	政府推奨フォーマットのうち、6つのデータセットを選択。								xlsまたはcsvとした。		既存データセットにないデータ項目について、原課でレコードを追加した。	公式ホームページ上にオープンデータコーナーを作成し、データセットを公開した。	お知らせページにデータ公開の案内を掲載。					
実施内容	目標を明確にしたうえ、必要なデータセットを選択する	公開対象とするデータ項目を検討するデータ構造を整理する	公開するデータセットに使うデータ項目と記載内容を整理する	データ項目が適切か検証する	応用語彙(独自の語彙)を定義する(任意)	コードやIDを整備する(使用する場合)	データレコードに付与する一意の番号や文字列などの識別子を定義する	データ項目定義書を作成する	公開するファイル形式や公開場所などを決める	データモデル記述を作成する(任意)	データレコードを入力する必要に応じてレコードを追加/削除する	データを変換する(任意)	データを公開する	データ公開について告知する	データを運用する	データ項目定義書やデータモデル記述を公開する		
インプット	既存データセット(公共施設一覧、保育園・幼稚園一覧など)(既存データセットがある場合)	既存データセットごとの検討が必要なデータ項目の一覧	既存データ(公共施設一覧、保育園・幼稚園一覧など)(既存データセットがある場合)	データセッタ(公共施設一覧など)のデータ項目(住所、利用時間など)	IMIコア語彙で表現できない項目の一覧	部署コード、施設種別コード、職員IDなど	レコードごとの識別子		データセット定義	データ項目定義書	データ項目定義書	データモデル記述	公開データセット(Excel、csv)	公開データセット一式	更新レコードユーザーからのコメント等	データ項目定義書データモデル記述		
外部参照資料・ツール等	開示請求の数、ウェブサイトのアクセスログなどの利用者ニーズ原課の対応可否他団体のデータセット	IMIコア語彙、国等が提供するフォーマット	IMIコア語彙	IMIサイトの公開ドラフト(PD)		全国地方公共団体コードなど	施設番号、制度番号など			データモデル記述仕様	表からデータモデル	表からデータモデル記述仕様				IMIサイト表からデータモデル		
実施内容の解説	想定されるデータ利用者、利用シーンを明確にする。推奨データセットなどを参考に、目的に合ったデータ項目を再検討する。ニーズが高くデータを挿入やすいデータセットから着手することが望ましい。検討結果をふまえ、公開対象とするデータセットの名称、概要、目的などを一覧表によりまとめる。(データセット定義)	既存データセットで使用しているデータ項目を洗い出し、目的に合ったデータ項目かどうか確認する。過不足があればデータ項目を再検討する。データを挿入やすいデータセットから着手することが望ましい。検討結果をふまえ、公開対象とするデータセットの名称、概要、目的などを一覧表によりまとめる。(データセット定義)	データ項目ごとに、ラベル(項目名)、記載内容(記載例)、データ型、必須/任意の種別などを定義する。「連絡先」といった項目を「名称」「住所」「電話番号」等に分割する必要がないか検討する。「施設」項目の施設種別など、機構別性を確保するため、データ構造の整理を検討する。	既存データで表現できないIMIの識別子とラベルを対応させたリストを整備する。	既存語彙で表現できない独自の語彙について、応用語彙としてIMIコア語彙と同様にラベル(項目名)、記載内容、データ型、データ構造、必須/任意の種別などを定義する。	2.2で作成した各データ項目を列見出しとして、1行1レコードによるように、いくつかデータを入れてみる。項目数が多い、記載方法を判断しづらいといった場合は、2.2のデータ項目定義を再検討する。	コードやIMIの識別子とラベルを対応させたリストを整備する。	既存の識別子がある場合は活用する。ない場合は、将来にわたって変わることのない一意の番号や文字列をして定義する。	項目名、値の範囲、書式、使用するコード・ID体系、記載例を整理し、データ項目定義書にまとめる。IMIの識別子とデータ入力フォーマット(*.csv、*.xlsx、*.xls、*.ttl、*.xmlなど)を決める。	データセット定義をもとに、データ入力フォーマットに合わせてデータ項目定義書に従い、データモデル記述(Data Model Description: DMD)を作成する。IMIの識別子とデータ入力フォーマットを作成する。	外部アプリケーション等からデータ構造の文脈を把握できるように、データモデル記述(DMD)を作成する。IMIの識別子とデータ入力フォーマットを作成する。	3.3で作成したExcel、CSVデータをXMLやRDFなど機械的にデータ入力フォーマットに変換する。IMIの識別子とデータ入力フォーマットを作成する。	データモデル記述	データモデル記述	データモデル記述	データモデル記述	データモデル記述	データモデル記述
アウトプット	データセット定義	データセットごとの検討が必要なデータ項目の一覧	各データセットのデータ項目・データ構造、IMIコア語彙との対応一覧	検証済データセット既存語彙で表現できない項目の一覧	応用語彙の定義一覧	コードやID体系ごとのリスト(ラベルと識別子など)	識別子の定義	データ項目定義書(各データセットのデータ項目・データ構造、既存語彙との対応及び応用語彙、コード・ID体系との対応)	データセットごとの公開ファイル形式	データモデル記述	公開データセット(Excel、CSV)	公開データセット(XML、RDF)	オープンデータサイト	オープンデータサイト	オープンデータサイト	オープンデータサイトIMIサイト		
作業対象データ	既存保有データ	データ項目やデータ構造が目的と合っているか確認									必要に応じデータ入力フォーマットに合わせて内容を調整							
既存データ(Excel、csv)								データ項目定義とデータフォーマット決定	公開ファイル形式を決定			既存保有データ等からデータ入力フォーマットをコピー追加データを入力						
公開データ(RDF、XMLなど)									公開ファイル形式を決定				公開データセット(Excel、csv)のデータを変換					
データセット定義、データカタログの要素	データセット定義名称概要目的など																	
検討する要素	データ項目定義の要素	データ項目	データ項目定義ラベル(項目名)記載内容(記載例)データ型データ構造必須/推奨の種別IMIコア語彙との対応	データ項目定義ラベル(項目名)記載内容(記載例)データ型データ構造必須/推奨の種別IMIコア語彙との対応	データ項目定義ラベル(項目名)記載内容(記載例)データ型データ構造必須/推奨の種別IMIコア語彙との対応	データ項目定義ラベル(項目名)記載内容(記載例)データ型データ構造必須/推奨の種別IMIコア語彙との対応	データ項目定義ラベル(項目名)記載内容(記載例)データ型データ構造必須/推奨の種別IMIコア語彙との対応	データ項目定義ラベル(項目名)記載内容(記載例)データ型データ構造必須/推奨の種別IMIコア語彙との対応	データ項目定義ラベル(項目名)記載内容(記載例)データ型データ構造必須/推奨の種別IMIコア語彙との対応	データ項目定義ラベル(項目名)記載内容(記載例)データ型データ構造必須/推奨の種別IMIコア語彙との対応	データモデル記述							
データ構造例	IMIコア語彙のデータ構造	施設	施設_住所_表記	施設_住所_表記	施設_住所_表記	施設_住所_表記	施設_住所_表記	施設_住所_表記	施設_住所_表記	施設_住所_表記	施設_住所_表記	ic:施設>ic:住所>ic:表記						
応用語彙のデータ構造例					ご当地キャラ_モチーフ	ご当地キャラ_モチーフ	ご当地キャラ_モチーフ	ご当地キャラ_モチーフ	ご当地キャラ_モチーフ	ご当地キャラ_モチーフ	ご当地キャラ_モチーフ	ex:ご当地キャラ>ex:モチーフ	応用語彙の名前空間をオープンデータサイトに定義					